

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	アジア諸国との交流事業				事業番号	008-026	
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.14 ,17.16		
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市国際化方針						
3	事業開始年度			平成 20 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠									

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市及び堺・アセアン交流促進委員会		
6	事業の対象	【堺側】アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的	多文化共生のまちづくりの推進、アセアン各国との交流を通じた国際感覚豊かな人材育成、アセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流促進、堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワーク形成を行うことにより、アフターコロナにおける、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。		
8	事業内容	○アジア諸国との交流 ・外国公館（在関西領事館等）連携事業の実施 ○堺・アセアン交流促進委員会 ・①アセアン諸国とのオンライン交流の実施（小～大学各世代の年間を通じた交流）、②関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座の実施、③アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真の公募及び作品展示（入選作品50点程度）、④堺観光コンベンション協会等他団体主催の催しへ参画し、アセアンの音楽・舞踊等の伝統文化を紹介、⑤語学・料理・工芸等の各国文化講座の開催、⑥アセアン諸国の映画上映会の開催、⑦日本アセアンセンター等と連携したアセアン諸国の産業や経済面の現状に関するセミナーの開催、⑧アセアン諸国での起業経験を有する講師によるセミナーの開催⑨民間大使プログラムの実施⑩フィリピン・デ・ラサル大学の学生に日本文化を体験してもらうイマージョンプログラムの実施など。 ○共通 ・HP及びfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	堺・アセアン交流促進委員会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	アセアン諸国との交流事業開催数	回		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	—	50	45	45
			実績値	51	40		
			達成率	—	80%		
当該指標を選定した理由		アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流が事業目的に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		アセアン諸国との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における事業開催数					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	アセアン諸国との交流事業参加者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	—	5,000	5,230	
			実績値	6,473	6,535		
			達成率	—	131%		
当該指標を選定した理由		アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため					
目標値の設定根拠・算出方法		アセアン諸国との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における交流者数					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3,325	3,859	4,113	2,966	4,107
	財 国支出金	0	0	0		0
	源 府支出金	0	0	0		0
	内 市債	0	0	0		0
	訳 その他（国際文化観光基金（国際課））	0	0	0		529
	受益者負担金（使用料、手数料等）	0	0	0		0
	一般財源	3,325	3,859	4,113	2,966	3,578
14	人件費（b）	42,500	24,161	21,965	22,260	19,670
15	年間経費（c）=（a）+（b）	45,825	28,020	26,078	25,226	23,777

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	堺・アセアン交流促進委員会負担金	R7	予算	3,500	3,500	通信運搬費	R7	予算	36	0
		R6	決算	0	0		R6	決算	0	0
	謝礼金	R7	予算	22	0	筆耕翻訳料	R7	予算	55	0
		R6	決算	23	23		R6	決算	0	0
	費用弁償（その他）	R7	予算	49	30	会場等借上料	R7	予算	185	0
		R6	決算	18	18		R6	決算	0	0
	普通旅費	R7	予算	53	19	研修会等参加負担金	R7	予算	29	29
		R6	決算	0	0		R6	決算	0	0
	消耗品費	R7	予算	26	0	その他	R7	予算	152	0
		R6	決算	0	0		R6	決算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① アセアン諸国との交流事業参加者数	人	6,473	6,535
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,859	2,966
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	596	454
	算出についての説明等		※年間経費に人件費は含まない	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和6年度については、オンライン交流だけでなく、対面による交流も含めて通年で国際交流事業を実施し、交流参加者数は微増した。また、単位当たりの経費については、約24%低減しており、効率よく事業を実施することができた。 ・学生間交流による国際感覚豊かな人材の育成や文化紹介等によるアセアン諸国の魅力を体感できる機会の創出に加え、令和5年度から実施している産業や経済等に関するセミナーにより、グローバルビジネスに関する交流機会を創出することができたと考える。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和3年度策定の「堺市国際化方針」に基づき、アセアン諸国との幅広い分野での国際交流を推進した。また、市民生活や学校教育の中で、国際感覚を身に付ける機会の提供や異文化理解を促進するため、時勢に即した交流方法を検討し、国際社会や地域で活躍できるグローバルな視点を持った次世代の人材育成につながる施策を企画、実施し、国際交流の強化に寄与した。
----	--